

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

綾部市

## 1. 平成26年度 行財政改革推進計画について【総括表】

計画の概要等	背景	人口減少や少子高齢化が一層進行する中、景気低迷に伴う税収の落ち込みなどにより、本市財政は依然として厳しい状況が続いている。また、社会構造の変化等による新たな行政課題や多様化・複雑化する市民ニーズに的確かつ柔軟に対応することが求められている。		
	必要性	少子高齢化など様々な社会情勢の変化に迅速かつ的確に対応しながら、真に必要な行政サービスをより効率的に提供する必要がある。そうした様々な施策を着実に推進するためには、確固たる財政基盤の確立が必要であり、引き続き、行財政改革を進めていく。		
	概要	平成23年度から平成27年度までの「第5次綾部市行財政健全化の取組」に基づき、本計画による業務改革・投資改革の取組を実施することにより、一層の行財政改革を推進する。また、これらの取組により、各種財政指標の改善を図る。		
	効果	本計画により、様々な行財政改革の取組を一層推進することで、財政負担を軽減し、持続的・安定的な財政運営を推進する。		
平成25年度行財政改革推進計画に伴う事業実績による行革効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	行革効果（単位：人・千円等）
小規模市町村支援				
広域連携事業支援	中丹文化芸術祭開催事業費	中丹3市の行政、文化団体等が連携して中丹文化芸術祭を開催し、8事業を実施した。	出演、出品者数：2,240人 入場者数：4,209人	7,225千円
	あやべ・おおい・おばま観光交流推進事業費	綾部市、おおい町、小浜市の行政、観光協会が連携し、3つの事業を中心に3市町への誘客を図った。	観光パンフレット作成：20,000部 バスツアー助成：10件 旅行業者向け情報発信：281社 PRイベント：3回	840千円

（記載要領）

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値（出来高数値等）」、「行革効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

綾部市

## 2. 平成26年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分	事業名・実施項目		
広域連携事業支援	中丹文化芸術祭開催事業費		
事業着手前			
課題・現状	中丹文化芸術祭は、中丹3市の各行政・各文化団体等が広域的に連携・協力し、今年度で28回目を迎え、毎回約10事業を実施しており、第23回から丹後文化芸術祭との交流も図っている。こうした地道な取組の結果、団体・個人による文化芸術活動の進歩・向上が進んできた。京都という全国屈指の文化的素地にある中で、平成23年度の第26回国民文化祭京都開催を契機に、中丹地域を含めた府北部における更なる住民の機運醸成や活動の充実発展を図っていく必要がある。		
事業概要	中丹地域における唯一の広域文化芸術事業として、各種の文化芸術フェスティバルを開催することにより、平成23年度の国民文化祭京都開催で醸成された機運を生かし、地域による文化活動の活性化と豊かな地域社会の発展を目指す。 また、地域住民における参加型事業として、各団体・個人の活動が広域かつ多岐にわたり様々な交流を重ねる中で、その創造的な文化芸術活動の進歩・向上に資する。		
期待される事業効果等	地域住民の活動が様々な交流を重ねることで、その文化芸術的な進歩や参加住民のモチベーション向上などを図ることができるとともに、経費の面においても、中丹3市が連携し役割分担することで、より少ない経費負担で大きな事業展開ができることから、中丹地域における唯一の広域文化芸術事業として複合的な相乗効果や成果を生み出すことが期待できる。		
事業実績			
取組状況	①踊りとダンスの祭典(7/20)、②ジュニア文化祭(7/27)、③コーラスフェア2014(9/23) ④中丹写真展(9/27～28)、⑤中丹和太鼓フェスティバル(10/26)、⑥短歌・俳句・川柳公募2014(11/24) ⑦詩吟と舞(1/24)、⑧軽音楽フェスティバル(2/8)		
主な実績数値 (出来高数値等)	出演、出品者数: 2, 240人 入場者数: 4, 209人		
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	昨年度に比べ、開催事業数が2減少し、入場者数は減少したが、出演、出品者数は増加した。文化・芸術に携わる人の活動を推進することができた。

行革効果									
行革効果の考え方	本市単独で同規模の芸術祭を開催するよりも、広域連携により負担を抑制								
年度	H22	H23	H24	H25	H26				
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	5,887	6,283	6,038	5,280	7,875				
本事業の実績額(b)	1,960	2,480	2,110	950	650				
行革効果(a)-(b)	3,927	3,803	3,928	4,330	7,225				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

綾部市

## 2. 平成26年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分	事業名・実施項目		
広域連携事業支援	あやべ・おおい・おばま観光交流推進事業費		
事業着手前			
課題・現状	綾部市、おおい町、小浜市の3市町は、京都府道1号線から福井県道1号線、国道27号線を介して結ばれる位置にある。しかし、府県の枠組みもあり、これまで積極的な連携がなかったため、単独の市町で京阪神方面から多くの観光客を誘客するには、観光資源や事業規模からも魅力が足りない状況であった。		
事業概要	府県、市町のエリアを越えた綾部市・おおい町・小浜市の行政、観光協会等が連携し、あやべ・おおい・おばま観光交流事業を実施。5つの事業を中心に3市町への誘客を図る。		
期待される事業効果等	綾部市、おおい町、小浜市が広域観光の振興を図るため、負担金を拠出して「あやべ・おおい・おばま観光交流実行委員会」を設置し、単独市ではできない規模で各種観光事業を展開することにより、京阪神方面からの多くの観光客の呼び込みが可能となる。また、府県を越えた3市町の相互の理解と友好を深める効果が期待できる。		
事業実績			
取組状況	①観光バスツアー助成事業(6/1～3/31)3市町の観光入込客の拡大を図るため、観光バスツアーに対して助成 ②観光PR事業 高速道路のサービスエリアや道の駅等の施設にパンフレット等を配置 ③若狭・中丹連携PR事業 若狭・中丹広域観光誘客協議会による広域連携事業の実施		
主な実績数値 (出来高数値等)	バスツアー助成事業10件、京阪神等の旅行業社281社へ事業PR発送、観光PRのためイベント参加3回、観光パンフレット20,000部作成、総会1回、幹事会1回、協議会3回		
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	府県を超えた広域的な観光施策の推進が図れた。

行革効果									
行革効果の考え方	本市単独で同規模の観光事業を実施するよりも、3市町が連携して開催することにより経費削減								
年度	H25	H26							
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	2,456	1,340							
本事業の実績額(b)	500	500							
行革効果(a)-(b)	1,956	840							

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。